

## インドに3か所目の自動車部品生産拠点を建設へ ～インド北部での防振ゴム供給体制を拡充～

東海ゴム工業株式会社（本社：愛知県小牧市、代表取締役社長：西村義明）は、インド北部、首都デリー近郊に自動車用防振ゴムの新工場を建設し、2013年11月の量産開始を決定しましたので、お知らせいたします。

経済発展が著しいインドでは、南部バンガロールと北部デリーの両都市近郊に国内外の自動車メーカーの工場が集積し、年々生産台数を拡大させています。当社は2008年5月に、自動車用防振ゴムの製造・販売する100%出資の現地子会社 Tokai Rubber Auto-Parts India Private Ltd.（略称：TRIN）を設立し、バンガロール近郊の工場に2012年1月より生産を開始しました。南部への製品供給体制は整いましたが、この工場から遠く離れた北部への製品輸送には輸送コストや安定供給の面で課題があったことから、当社は、インド北部での新工場建設を検討してまいりました。

今回の新工場は、インド北部ファリダバードで自動車用ホースを製造する Tokai Imperial Rubber India Private Ltd.（略称：TIR）、TRIN のバンガロール郊外の自動車用防振ゴム工場に続く、インドで3か所目の生産拠点となり、インド国内の主要な自動車生産拠点への納入体制が大幅に拡充されることとなります。

### <デリー近郊新工場の概要>

所在地：インド ラジャスタン州  
ニムラナ工業団地フェーズⅡ  
(デリー中心部の南西約120km)

従業員数：約140名(2015年度見込み)

工場面積：敷地約40,000㎡、建屋約3,600㎡

総投資額：約8億ルピー(約14億円※)

着工：2012年4月下旬

売上高：約7億ルピー  
(約13億円※、2015年度見込み)



デリー近郊新工場の完成予想イメージ

### <TRINの概要>

所在地：インド カルナタカ州 ハロハリ工業団地フェーズⅡ  
(バンガロール中心部から南西約40km)

事業内容：自動車用防振ゴムの製造・販売

資本金：8億5000万ルピー(約15億円※)  
デリー近郊の新工場新設に伴い13億ルピー(約23億円※)に増資

代表者：社長 林直樹

従業員数：約340名(北部工場含む、2015年度見込み)

工場面積：敷地約40,000㎡、建屋約9,600㎡(バンガロール近郊の工場)

(※) 1ルピー=1.8円で換算

以上